

本日の報告内容

- 1 保護林の設定と適切な管理
- 2 希少野生動植物の保護・管理
- 3 その他

1 保護林の設定と適切な管理

保護林とは

- ・ 原生的な森林生態系からなる自然環境の維持
- ・ 動植物の保護
- ・ 遺伝資源の保存
- ・ 施業及び管理技術の発展等に資することを目的に設定された国有林

・ 国有林野独自の制度として、大正4年(1915年)に発足

1 保護林の設定と適切な管理

① 森林生態系保護地域

原生的な天然林を保存することで、自然環境、動植物、遺伝資源を保護する。


5箇所
275,635ha

- ・ 知床 すつきがわ
- ・ 狩場山地須築川源流部
- ・ 大雪山
- ・ 日高山脈
- ・ 漁岳周辺

知床森林生態系保護地域

1 保護林の設定と適切な管理

②森林生物遺伝資源保存林
自然生態系内の生物の遺伝資源を保存し将来の利用可能性に役立てる。



利尻・礼文森林生物遺伝資源保存林

1箇所
5,400ha
▼
H25年度から
4箇所
45,791ha

- ・利尻・礼文
- ・十勝川上流 (予定)
- ・日高山脈西部 (予定)
- ・日高山脈東部 (予定)

1 保護林の設定と適切な管理

③林木遺伝資源保存林
代表的な木の遺伝子を保存する

139箇所 2,666ha



オオバボダイジュ

④植物群落保護林
国や地域を代表する植物群落を保護する

58箇所 25,332ha




夕張岳高山植物保護林

1 保護林の設定と適切な管理

⑤特定動物生息地保護林
シマフクロウ、タンチョウ、オジロワシをはじめとする希少動物の繁殖地、生息地等を保護する。


16箇所 12,412ha



シマフクロウ生息地保護林

⑥特定地理等保護林
特異な地形、地質等の保護を図る。

4箇所 14ha




マンガン鉱床保護林

1 保護林の設定と適切な管理

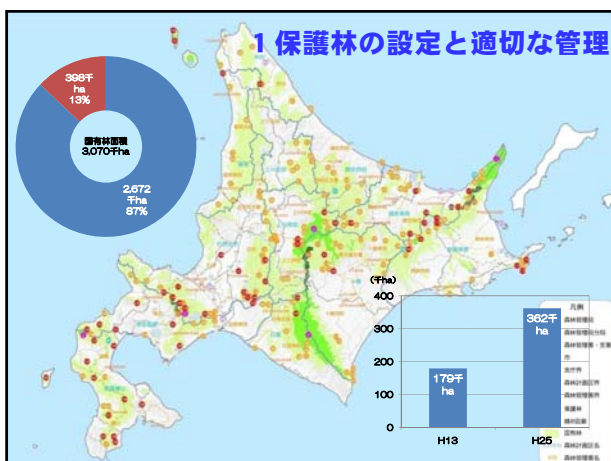
緑の回廊
複数の保護林をつなぎ、野生動物たちの移動経路とし、生息地の拡大と相互交流を促すことで、より広範で効果的な森林生態系の保護に務める。

3箇所 36,815ha

- ・知床半島
- ・大雪・日高
- ・支笏・無意根



知床半島緑の回廊




1 保護林の設定と適切な管理

モニタリング調査の実施
・保護林の状況を的確に把握し適切な保全・管理に反映させるため森林計画区毎、5年毎に毎木調査、植生調査、動物調査等を実施
・調査結果と学識者の助言により、課題のある保護林については対策を実施

一例ー

- ・中山峠植物群落保護林
アカエゾマツ枯損
原因を調査 >> 世代交代
- ・イチイ純林保護林等
シカ被害
防鹿ネットの設置



モニタリング調査

2 希少野生動植物の保護・管理

なぜ、希少野生動植物を保護するのか

- ・野生動植物は生態系の重要な構成要素
- ・一つの種の減少・全滅は生物多様性のバランスを崩し、その回復には多大な時間と労力を要する



- ・絶滅のおそれのある野生動植物を保護することで、良好な自然環境を保全
- ・保護林の内外を問わず希少野生動植物の保護を実施

2 希少野生動植物の保護・管理

レブンアツモリソウ（宗谷森林管理署）



- ・巡視（パトロール）
- ・個体数調査（平成24年）・・・調査時の踏圧を懸念
 >>ラジコンヘリコプターによる空撮

2 希少野生動植物の保護・管理

岨山-きりぎしやま-（空知森林管理署）



植生回復調査と防鹿ネット



ホテイアツモリ

- ・地元ボランティアによる巡視（パトロール）
- ・植生回復調査
- ・防鹿ネットの設置

2 希少野生動植物の保護・管理

エゾスユキソウ（十勝東部森林管理署）



職員による外来種除去



除去された外来種
(キバナコウリンタンポポ)

- ・植生調査
- ・外来種の除去

2 希少野生動植物の保護・管理

シマフクロウ
（道東方面の森林管理署）



給餌池の設置



巣箱の設置



生息環境の整備
(広葉樹の植込み)

2 希少野生動植物の保護・管理

タンチョウ（根釧西部、根釧東部森林管理署）
オジロワシ（根釧東部森林管理署）

- ・巡視



オジロワシ



タンチョウ

3 その他 (エゾシカ対策)

農林業被害や交通事故多発状況を踏まえ、現在、エゾシカ対策を最重要取組事項の一つとして実施中

エゾシカ捕獲の推進

①エゾシカ捕獲を支援するための林道除雪


- ・22年度：延べ1,000kmの除雪、1,000頭以上捕獲
- ・23年度：延べ1,800kmの除雪、4,900頭以上捕獲

②希少動物に配慮しながら行う罠いワナ捕獲 (根釧東部、西部森林管理署)

- ・21年～23年までに約230頭を捕獲、養鹿業者に引渡し

③くくりワナ (実証実験、十勝東部森林管理署)

- ・23年度着手し17頭を捕獲



深刻な樹皮剥ぎ被害 罠いワナで捕獲

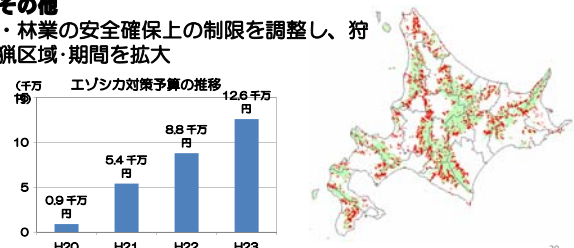
3 その他 (エゾシカ対策)

天然林などへ与える影響調査

- ・22～23年度、全道の森林官が影響調査を8千箇所実施 (右下図の赤印)
- ※樹皮剥ぎ被害が全道各地で多数発見されるなど、天然林への悪影響が全道化する兆候を把握

その他

- ・林業の安全確保上の制限を調整し、狩猟区域・期間を拡大



エゾシカ対策予算の推移

年度	予算 (百万円)
H20	0.9
H21	5.4
H22	8.8
H23	12.6

3 その他 (治山ダムの改良)

サケ科魚類がスムーズに遡上できるように治山ダムを改良



3 その他 (治山ダムの改良)

国有林治山施設等整備済み事例




保護林情報の公開

『北海道国有林の保護林』で検索

